

天王通り周辺のまちづくりワークショップ かわらばん



2018年度 WORKSHOP

No.2号

第一回 WS、開催しました。

開催日時：11月12日（月）
14:30~16:30
会場：津島市文化会館 1階研修室
テーマ：「天王通りの現状とこれからのまちづくりについて」
参加者：24名

次回以降の予定（※諸般の事情により変更する場合があります。）

	時期	内容
第1回（済）	平成30年11月12日	「天王通りの現状とこれからのまちづくりについて」整備プラン・アンケート結果等について、沿線住民の方も交えて意見交換。
第2回（次回）	平成31年1月21日 14:00~	「天王通りのにぎわいのためにできること」にぎわいある天王通りを実現させるために、できることの意見を整理します。
第3回（予定）	平成31年2月中旬	「天王通りの“道路”としてあるべき姿について」ここまでの検討を踏まえて、道路整備の方向性を考えます。

■地域の方を交えて対話

前回までのタウンミーティング・ワークショップ準備会において「実際に、天王通りに住んでいる方や商売している方の出席が少ないよね。」「地権者の方を入れないで、机上の空論になってないか心配。」という意見が挙げられていました。

そこで今回の開催にあたり、今まで以上に対象地域の方に声掛けをしました。また、前回までの開催は土曜日でしたが、月曜日は天王通りの商店のお休みが多いことから、平日（月曜日）の開催に踏み切ってみました。

果たして本当に出席してもらえるだろうか、もし誰も来てくれなかったらどうしよう、などという事務局の心配をよそに、8名の地域の方（在住・在勤・土地建物所有等）の参加がありました。地域のことをよくご存じの方が入って、いっそう生き活きとした（時には生々しい、リアルな）話題で盛り上がりました。



■話し合いの進め方

前半では、事務局から天王通り周辺の成り立ち、現状、昨年度実施した天王通り再生プラン提案募集事業、タウンミーティングの様子、これらを踏まえて作成した「整備プラン」の説明を行いました。その後、10月に実施したアンケート調査の結果について報告しました。

後半ではA、Bの二つのグループで、アンケート・整備プランについて気づいたこと、思うことなどディスカッションしました。

■天王通り周辺のまちづくりアンケート調査

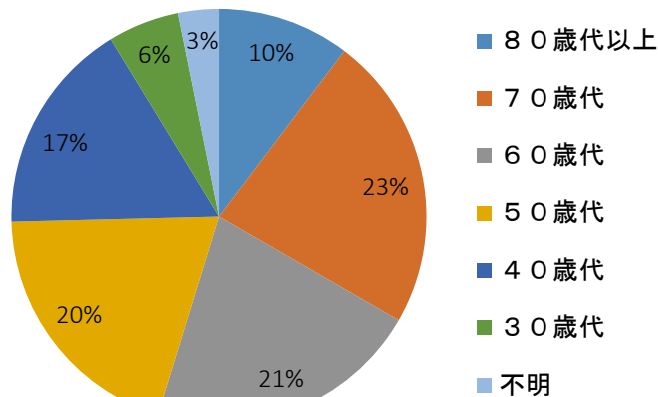
天王通りに接してお住まいの方、店舗を営んでいる方、土地や建物をお持ちの方を対象として、天王通り周辺のまちづくりに関する意識調査を実施しました。

以下に抜粋で調査結果を示します。

＜調査概要＞

1. 調査期間：平成30年10月3日～10月30日
2. 配布回収数：配布 361（訪問配布 54 郵送配布 307）
3. 回収数：126（回収率 34.9%）

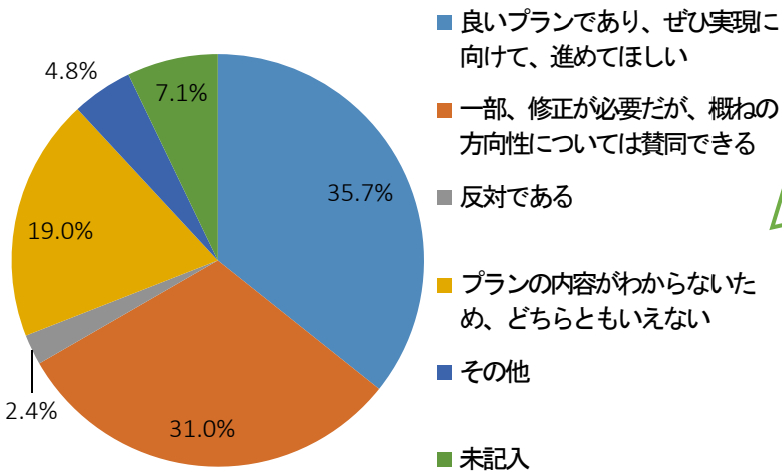
問1. 回答者の年齢層について



※10、20代の回答はありませんでした。

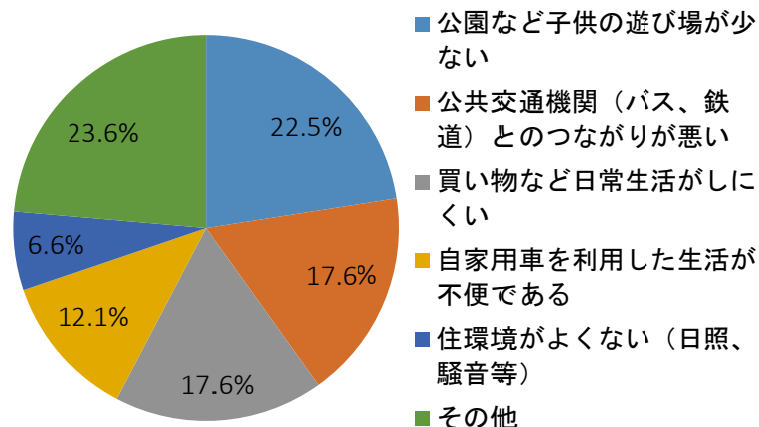
30代から80代以上まで、幅広くご意見を伺うことができました。

問9. 天王通りの整備プランの賛否



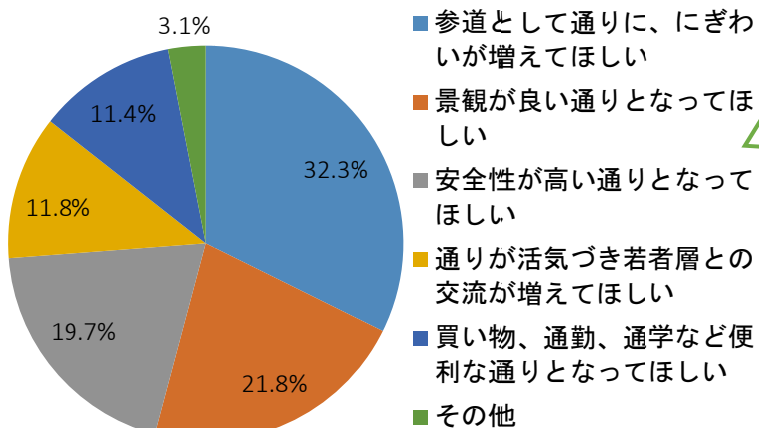
プランに対して「賛成」もしくは「一部修正が必要であるが賛成」が約6割という回答が得られました。

問15. 現在の天王通りの不満について



「遊び場が少ない」、「公共交通機関とのつながり」、「買い物が不便」などの不満がありました。

問16. 将来、天王通りがどのような通りになればよいか？



「にぎわい」「良い景観」「高い安全性」の順で高く期待されています。

グループディスカッション～アンケート結果・整備プランについての意見～〈Aグループ〉

駅前の現状

- お店がなくなってしまう。昔は赤ちょうちんがあったり、銀行も5行くらいあった。
- 人を寄せ付けない駅となってしまっている。駅に賑わいがなくさみしい。駅の高架下は利用できないか。
- 駅が立派であると、そのまちに誇りが持てる。



交通について

- 突き当りの道が多く車で出かけるのに不便。
- コミュニティバスが一丁目に来ていないため車がないと住みにくい。バスの整備など必要ではないか。
- 藤まつりの際には駅前でタクシー待ち 20 分などになってしまうが、お茶を飲む場所や休憩場所といった受け入れ体制が整っていない。
- 市役所が行きにくい場所になってしまった。
- 車社会で天王通りが通過交通のみとなってしまっているため、無料駐車場を設けるなどして、観光目的の人が利用しやすいようにしたらよいのでは。

他の自治体の例を参考に

- 飛騨古川に行った際に、お菓子の包装紙に凝っていたり参考になるのではないかと感じた。わざわざ来るということは本物とを感じるものがある。
- 飛騨古川は控え目な感じを受ける。無料駐車場もあった。「君の名は。」の影響もあるのだろう。
- 仕事の関係で京都花灯路に関わっているが、津島でもお月見灯路が行われてやり方しだいで良くなるのではないか。
- 彦根市などでも昭和 50～60 年代に流行っていたところがさびれてきているため、そういったところをどうにかする必要がある。
- 犬山ではグルメ（肉）で人が集まっており、駅から遠くても行く人がいる。ウォーキングができるという点では体にもよく、魅力になる。
- 円頓寺商店街でパリ祭というのが行われており、一人の発起人により始まったようだが、そういった何か一つ魅力となるものがあれば、人が集まる。
- 他市では、駅ビルを飲み屋街にしている例がある。チャレンジ出店の場合には安く貸すなどの制度があり、チャレンジしやすくなっている。

整備プランについて

- 観光客と生活者のどちらをターゲットにしているかという視点も必要。
- 商業、居住のバランス、ルールが必要。
- 駅から鳥居のような目標物が見えないため、奥へと導けない現状がある。
- 信長公と濃姫が天王祭りを見たという史実が知られておらず、看板等でその表記が欲しい。

- 整備プランを実行していくにあたり金額がどのくらいかかるのか。取組は行おうとしているが再生というのは難しい。
- 本町筋の古い町並みは活かすことができないだろうか。
- 人さえ集まるようになれば、自然発生的にお店もできていく。
- 人を来させる仕組み、リピーターを生む仕組みが必要。
- 1 kmをこのプランのように変えることができるか？
- 車中心から歩行者中心にしていこう。
- 滞在時間を長くさせる仕組みが欲しい。

最近ちょっと通いを歩く人が増えてきているんじゃないか

- 若い方が徐々に増えてきており、特に土日になると多くなっている。御朱印帳がはやっており、インスタ映えするといった点もあるのでは。
- 清林館高校によるプロジェクションマッピングがあったが、やっていることが知られておらず、もっと宣伝した方が良かったと感じた。こういったものが長年続いていけばよいと思う。
- 清林館高校が愛西市に行ってしまうと、跡地に商業施設ができるという噂があり、そうすると天王通りに影響がある。
- ポケモン GO をやっているらしき人たちが来ていることがある。2 か所ほどあり 5～6 時といった早い時間。
- 妖怪探しもやっていた。スマホのゲームが人を集めるきっかけとなる。



こんなことを試みてみたらどうだろう

- 天王通り周辺に神社仏閣が多いため、ご利益 MAP などをつくれないうか。
- 集客の対象を完全にシニアに絞るということも考えられる。たとえば抹茶文化であったりお水がきれいなことであったり、神社なども。
- 名鉄の駅が近いというメリットを活かして JR でやっているウォーキングのようにお寺めぐりを行うなどができるのではないか。
- 中心市街地活性化法などの活用は考えられないか。
- 資源として大銀杏をもっと活かしてもよいのでは。その大きさに驚いたり、写真撮影をする人をよく見かける。看板を増やしても良いかも。
- 民泊の部屋に津島（尾張）の古事記・絵本を置く
- 観光センターを大きく活用する。

都市計画道路について

- 都市計画道路が、ひとつのネックとなっている。
- 都市計画税を払っているのに、何もされていないように見受けられる。それならば別のもっとよい使い道があるのではないか。

情報を活用しない

- 津島の現状の問題点として情報が一元化されていないということが挙げられる。さまざまな取組が行われてはいるが、なかなかその情報が行きわたっていない。
- 整備プランについての情報はポストに入っていたチラシで気づいたため、そういった情報をより周知していく必要がある。

ワークショップ終了後の参加者アンケートまとめ〈抜粋〉

Q. 本日のワークショップの感想をお聞かせください。

よい意見が聞けました。／色々な意見でまちづくりの思いが解り参考になりました。／いつも良い意見を聞きますが、目的をもっと絞り込む必要があるのではと思います。／各々が自分の思いだけを好き勝手に述べるだけで本来のワークショップ的要素を感じられなかった。リーダー（司会）の方の計画、進行不足を感じました。何をどうやっておこなっていくのか、アンケート結果を掘り下げていくなら、その分析なりの手法を用いてほしい。

Q. 天王通りの整備プランについて、補足のご意見があればご記入ください。

・実現に向けて頑張ってください。／小路も天王通りと一緒に整備すれば、お店探しの遊び心で楽しくなる！と思います。／プランは良いと思いますが、生活者との共存の仕組み作りが必要。／“駅前ゾーン”での名古屋鉄道はこの会議自体に巻き込む方策を考えたい。津島駅を来客のスタート・到着点とする電車利用者を、名鉄としてどう対応策を持っているのか知りたい。犬山市の城下町を積極的にポスター、TV CM等でPRしていることから、「津島のにぎわいを再び！」という観点で、よい話ができるのでは。／天王通りだけの問題ではなく津島を活性化するために企業誘致、産業を興す努力をすべきではないか。

Q. 今後の進め方について、その他のご意見やご質問があればご記入ください。

商売をしていて、なかなか出席する事が不可能。今日のように月曜日か夜でならば出席できるので考えていただきたい。／若い人達の意見もスマホやSNSで聞いてみれば、違った意見やアイデアもできるかも？／次回のワークショップに今回の報告があるとよいです。／名古屋駅周辺地価高騰。2027年のリニアの開通に備える。逆に安くひっぱり込む事を考える。／方向性及び落としどころをある程度設定した上で進めてほしい。力のあるプロデューサーが必要。／若い方にも参加してもらって、意見を聞くのも良いかと。／関係者、地権者をより多く出席して頂けるワークショップとなるよう期待したい。曜日はこだわりません。



正直、営業苦しい。

- ・四丁目で自宅兼店舗として営業していたけど、電気代・水道代を払うと売上が吹っ飛んでしまう。先代から引き継いでやっていたけど、赤字分を旦那の給料で充当していた。減価償却はとっくに終わっている建物で家賃が要らないから、なんとかやっていけたけど、家賃を払って営業している人は大変だなと思う。
- ・これからどうすれば良いのか悩んでいる。貸家の借り手がおらん。
- ・人に貸すことも壊すこともできない。
- ・更地にして高い税金を取られるのもちょっとね。
- ・所有物件に今年借り手がついて、営業始めたのだけど、なかなか苦しいようだ。
- ・先々の不安がある。リニアができたから、ますます客を名古屋にストロー現象で吸い取られるだろう。
- ・20年前飲食店をしていたが、今、きもの教室を開き、いろいろと町のイベントやお祭りの時に、きもの体験や小物を作っている。
- ・津島神社の門前町にしないとね。犬山みたいに。犬山は城下町だけ。

アンケート結果について

- ・回収率が低いのが気になる。65%の未回収がある、ということ。これで良いのだろうか。
- ・アンケートの未回収65%の方の意見を無視できないよ。
- ・マンションにお住まいの方の数が多いが、観光の視点を考えたとき、マンション住民の意識とは別に考えないといけないだろうね。
- ・回答者は貸建物・店舗・空き家・住宅の割合が同じくらいだけど、実態とどのくらい違いがあるのだろうか？
- ・通り沿いに住んでいる世帯が多く、店舗は少ない。マンション住まいの方が相対的に多いのかなあ。
- ・マンションが多いけど、一軒家に住んでいる人と区別して分析すべきでは。
- ・アンケートの結果が、A：神社ゾーン、B：中央ゾーン、C：駅寄りゾーンで、ちょっと傾向が違うのだなと感じた。

天王通りの現状

- ・商業地域なのに結構、住宅が多い。
- ・今後、空き家や空き地をどうするのか？
- ・子供がいないから、子供会が成り立たんのだワ。
- ・お祭りしてもお金が落ちない。

沿道の方は、今、どんな想いでシャッターの通いを見ているのだろう。

- ・地権者の方の意識がつかめないのが少々まどろっこしい。
- ・一丁目の所有者がおらんのは話にならん。
- ・話し合っても、行政と一部の市民の自己満足で終わるのではないかと危惧している。
- ・どうしたら多くの地権者がこのWSにきてくれるかな。
- ・観光の観点と生活の観点とでは、全然意見が違って来ますよ。

かつて、津島は栄えていた。

- ・まわりに色々工場があった 休みになれば女工さんが歩いていた
- ・毛織物業がさびれてしまって、関係者としてひしひしと責任を感じている
- ・津島は非常に魅力があるが、活かしきれていない。
- ・毛織物に代わる何か産業を活発にしないと駄目だよ。
- ・「相続税頼むよ」と子に言われた。
- ・パチンコ、銀行、飲食店がいっぱいあって、栄えていた。
- ・「津島で修業した税務署員は全国どこでも通じる」と言われたものだよ。
- ・子供の頃の賑わいを思い出す。

整備プランについて

- ・再生の目的と主たるターゲットは何だろう。商業なのか、生活重視なのか。中途半端になってしまいそうで、心配。
- ・整備プラン、概ね賛成だけど、いきなりハードに投資するのはリスクが高いのでは？
- ・はたして、良い景観とはどのような街並みなのか。
- ・まず、人を寄せることをしないと。
- ・活気が京都・伊勢にはかなわないし。
- ・「天王通り」という名前は、とても魅力的な名前ですよ。
- ・天王通りも含めて市街地の活性化をするためには産業を興す努力が必要。人口増やして、まちの繁栄につなげないと。
- ・まちづくりとして福祉的な意見が多いように感じる。
- ・地域の生活圏として考えたとき、賑わいは要るの？
- ・マンション住民にとって、整備プランはどんな風に目に映るのだろう。



どうしたら多くの人を巻き込むことができるだろうか。

- ・県道（天王通）で歩行者天国のイベントをして見せてみるのが大切では？
- ・ヨシツヤ跡地、何とか上手に話して活用できないか。
- ・通年のお祭りゾーンっていうの、どう？
- ・一宮も七夕は賑やかだけど平日はシャッター通り。
- ・毛織の展示会、体験館とか、どうだろう。
- ・美濃紙すき体験は良い。津島も毛織体験できないか？多治見だとタイル体験がある。
- ・私だったらお団子買って食べたいわ。氷もいいね。
- ・最近ちょっとまち歩きする人も出てきているみたいだけど、お金が落ちていかない。食べ歩き、お茶をセットにするとか、何か工夫しないとね。

道路のあり方について

- ・私は道路、このままの幅で良いと思う。
- ・「車」の便利が悪い、ということではないかなあ？交通悪くないよ。
- ・市もお金ないから余計なお金使わんでもいい。現道のままで良い。わからんけど。

